

専門科目・専門分野（午後） 人間環境システム専攻

19 大修

時間 13:30～15:30

注意事項

1. 次の **選択問題 1** ～ **選択問題 8** のうち、2 問を選択し、解答せよ。
2. 解答は各問題ごとに別々の解答用紙に記入せよ。
3. 各解答用紙には必ず受験番号を記入せよ。
4. 問題用紙・下書用紙は持ち帰ってよい。

選択問題 1 次の問題 1, 2 に答えよ。

問題 1 : 近年、首都直下地震の発生やそれによる甚大な被害が懸念されている。中央防災会議は、東京湾北部に M7.3 の地震が発生した場合、おおむね以下のような被害が予想されるとしている。

- a) 揺れなどによる建物全壊 20 万棟、東京の下町で大被害、建物倒壊などによる死者 5,000 名
 - b) 火災は木造密集市街地で顕著、建物焼失 65 万棟、火災による死者 6,000 名
 - c) 都心部での帰宅困難者 650 万人
 - d) 避難者 700 万人
 - e) ライフライン被害による供給支障(電力 1 週間、通信 2 週間、上水道 4 週間、ガス 8 週間以上)
 - f) 建物被害などによる直接被害額約 65 兆円
 - g) 首都機能低下の影響も含めた間接被害額約 40 兆円
- (1) これらを参考にして、首都直下地震の際にどのような問題が生ずるかをあなた自身で考えた上で、重大と考えられる問題を具体的にひとつあげて、その理由を 100 字程度で述べよ。
 - (2) (1)であげた問題の対策・対応として、A)事前の対策、B)発災直後の対応、C)復旧・復興のための対応、のうちであなたが一番重要であると考えるものをあげ、その理由を 100 字以内で述べよ。
 - (3) (2)で選んだ対策・対応の具体策を 200 字程度で述べよ。

(**選択問題 1**) は次ページに続く)

専門科目・専門分野（午後）

人間環境システム専攻

19 大修

時間 13:30~15:30

注意事項

1. **選択問題 1** ~ **選択問題 8** のうち、2問を選択し、解答せよ。
2. 解答は各問題ごとに別々の解答用紙に記入せよ。
3. 各解答用紙には必ず受験番号を記入せよ。
4. 問題用紙・下書用紙は持ち帰ってよい。

選択問題 1 の続き)

問題 2 : 以下の問 (1), (2) のどちらか 1 問を選び答えよ。

(1) 以下の問いに答えよ。

1) 以下の用語は、建築や都市の防火対策として過去の史料に登場するものである。この中から 2 つ選び、各々の防火上の意義について 150 字程度で述べよ。

- a) 火除地
- b) 火切石
- c) 広小路
- d) うだつ (卯建)
- e) 用水桶 (天水桶)
- f) 土蔵

2) 防火安全設計上、避難行動に関連して以下の各事項について技術基準が定められている。この中から 2 つ選び、各々について防火上それらが定められた意義を 150 字程度で述べよ。

- a) 設計用歩行速度
- b) 直通階段までの歩行距離
- c) 重複距離
- d) 扉の有効流動係数

(2) 我が国の住宅火災による死者は増加傾向にあり、建物火災による死者全体の 9 割を占めている。そしてその約 7 割が「逃げ遅れ」、また 5 割は高齢者である。こうした状況に鑑み、消防法が改正され、本年 6 月 1 日から一般住宅(新築および改築)においても住宅用火災警報器の設置が義務付けられることとなった。

住宅火災の死者を低減するために、住宅用火災警報器を設置する際の設置場所及び留意点について述べよ。(600 字程度)

(補足) 住宅用火災警報器とは、住宅の中の火災を感知しその場で警報を鳴動させる機能を有する警報器の全般を包含する名称。このうち、法律上で設置すべきとされた煙式の住宅用火災警報器を特に住宅用防災警報器と呼ぶ。

住宅用火災警報器には、感知方式の違いから、代表的なものとして光電式住宅用防災警報器(煙で感知)と定温式住宅用火災警報器(熱で感知)がある。上記の設問

専門科目・専門分野（午後）

人間環境システム専攻

19 大修

時間 13:30~15:30

注意事項

1. **選択問題1** ~ **選択問題8** のうち、2問を選択し、解答せよ。
2. 解答は各問題ごとに別々の解答用紙に記入せよ。
3. 各解答用紙には必ず受験番号を記入せよ。
4. 問題用紙・下書用紙は持ち帰ってよい。

選択問題2 次の問題1, 2に答えよ。

問題1：下図はボーリング調査などの地質調査によって得られたある地点の地質・地質構造を模式的に示したものである。図を見て以下の問に答えよ。

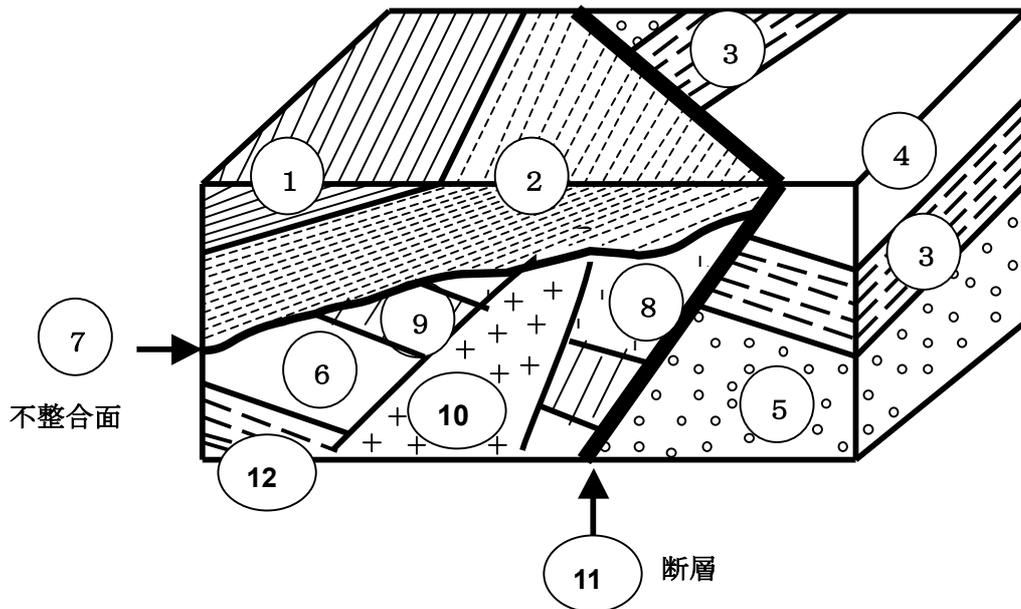


図 ある地点の地質・地質構造の模式図

- (1) 図の模式図から判断可能な範囲で、地層と地質構造の層序を古い順に①～⑫の番号を並べ変えて示せ。さらに模式図のような地質・地質構造となった変動史を200字程度で順を追って説明せよ。なお、①と⑫、及び④と⑥はその組み合わせで、それぞれが同一地質時代に堆積した地層である。
- (2) 図に示すような地層には一般に、割れ目あるいは不連続面と言われる引張り強さが小さいか、全く無い、力学的に弱い節理が存在する。節理の種類を2つ挙げ、その成因を各々50字以内で簡潔に述べよ。
- (3) 岩盤斜面では2方向及び3方向の走向・傾斜を持つ節理が一般に認められる。急峻な岩盤斜面のり面に対して比較的高角度に交わり、差し目構造をなす節理が最も卓越して発達する岩盤

斜面において発生しやすい代表的な斜面の破壊形態を2つ挙げ、各々を概念的な模式図で示せ。

(選択問題2)は次ページに続く)

専門科目・専門分野 (午後)

人間環境システム専攻

19 大修

時間 13:30~15:30

注意事項

1. 選択問題1 ~ 選択問題8のうち、2問を選択し、解答せよ。
2. 解答は各選択問題ごとに別々の解答用紙に記入せよ。
3. 各解答用紙には必ず受験番号を記入せよ。
4. 問題用紙・下書用紙は持ち帰ってよい。

(選択問題2)の続き)

問題2: 1次元座標上の任意の位置を x , 時刻 t における変位を $u(x,t)$, 波の伝播速度を $c (c > 0)$ とすると、波動方程式は、

$$\frac{\partial^2 u}{\partial t^2} = c^2 \frac{\partial^2 u}{\partial x^2}$$

と表される。差分法を用いて波動方程式を数値的に解く手法について、以下の問いに答えよ。

(1) 中央差分を用いて、 t に関する任意の関数 $f(t)$ の2階の常微 $\frac{d^2 f(t)}{dt^2}$ を差分展開せよ。ただし、1階の常微分の中央差分は、

$$\frac{df}{dt} \approx \frac{f_{n+1} - f_{n-1}}{2\Delta t}$$

と表せることを用いてよい。ここで、 $\Delta t = t_{n+1} - t_n$ で時間の小さなキザミ幅、 f_n は $f(t)$ の離散化された n 番目の時刻 $t=t_n$ における近似値である。

(2) 中央差分を用いて、関数 $u(x,t)$ の2階の偏導関数 $\frac{\partial^2 u(x,t)}{\partial t^2}$ を差分展開せよ。ただし、1階の偏導関数 $\partial u / \partial t$ の中央差分を用いた差分表式は、

$$\frac{\partial u}{\partial t} \approx \frac{u_{n+1}^j - u_{n-1}^j}{2\Delta t}$$

と表されることを用いてよい。ここで、上付き文字の j はベキ乗ではなく、 u_n^j は $t=t_n$ および空間上の j 番目の離散点 $x=x^j$ における $u(x,t)$ の近似値を表すものとする。

(3) (2)の結果を利用して波動方程式を差分方程式で近似せよ。

(4) (3)で得られた差分方程式を数値的に解くためのアルゴリズムを図を用いて説明せよ。なお、初期条件、境界条件は、説明に都合がよいように適宜設定してよい。

(このページは、以下空白)

専門科目・専門分野（午後） 人間環境システム専攻

19 大修

時間 13:30~15:30

注意事項

1. 選択問題 1 ~ 選択問題 8 のうち、2 問を選択し、解答せよ。
2. 解答は各問題ごとに別々の解答用紙に記入せよ。
3. 各解答用紙には必ず受験番号を記入せよ。
4. 問題用紙・下書用紙は持ち帰ってよい。

選択問題 3 次の問題 1, 2 に答えよ。

問題 1: 大きな屋根を構築する際に、地表面にて屋根面を形成したのちワイヤーなどで持ち上げ、所定の位置に設置するリフトアップ工法と呼ばれる方法が用いられる場合がある (図 1)。このときのワイヤーに作用する力について簡単なモデルを通して検討する。図 2 は図 1 を簡単な力学モデルに置き換えたものである。中央に重量 W の荷物を載せた弾性はりを用いた 4 本のワイヤーを用いて吊り上げ、静止したつりあい状態を示している。ただし、弾性はりは曲げ変形のみ生じるものとし、ワイヤーは図 3 に示すように引張軸力のみを負担するものとする。また、弾性はりおよびワイヤー自体の重量は無視する。以下の間に答えよ。

- (1) 弾性はり剛体 (曲げ剛性が無限大) の場合、各ワイヤーに生じる張力を求めよ。
- (2) 弾性はりの曲げ剛性が EI (E : ヤング係数, I : 断面 2 次モーメント) の場合、各ワイヤーに生じる軸力を求めよ。

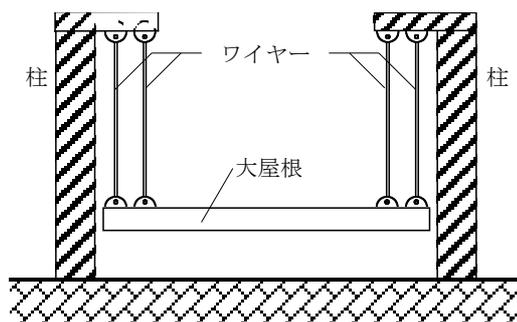


図 1

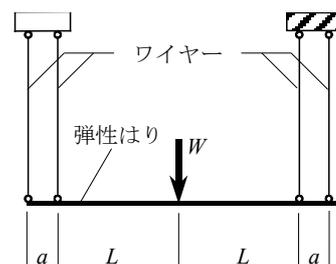


図 2

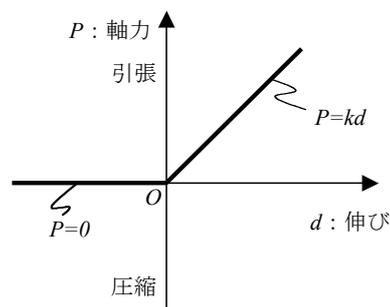


図 3

(選択問題3 は次ページに続く)

注意事項

1. 選択問題 1 ~ 選択問題 8 のうち、2 問を選択し、解答せよ。
2. 解答は各問題ごとに別々の解答用紙に記入せよ。
3. 各解答用紙には必ず受験番号を記入せよ。
4. 問題用紙・下書用紙は持ち帰ってよい。

(選択問題 3) の続き

問題 2: 図 4 のような系を考える。この系は、2 本のリンク材 AC, CE, ロッド DF およびバネから成っている。リンク材 AC, CE は鉛直面内でピン接合されており、点 A にてピン支持され点 E にてローラー支持されている。ロッド DF は、点 D でリンク材 CE とピン接合され、点 B ではロッドがスライドできる状態でリンク材 AC に接続されている。2 つのリンク材の角度 θ が大きくなると、ロッド DF が BF 間でバネ（バネ定数: K ）を縮め、その結果、点 E に作用している力 P は増加する。このとき、リンク材間の角度 θ と力 P の関係を求めよ。

ただし、両リンク材およびロッドは剛体とし、 $\overline{AB} = \overline{BC} = \overline{CD} = \overline{DE} = L$ とする。また、リンク材間の角度 $\theta = 0$ のとき、バネは自然長（伸縮がゼロ）にあるものとする。なお、すべての材の重量は無視する。

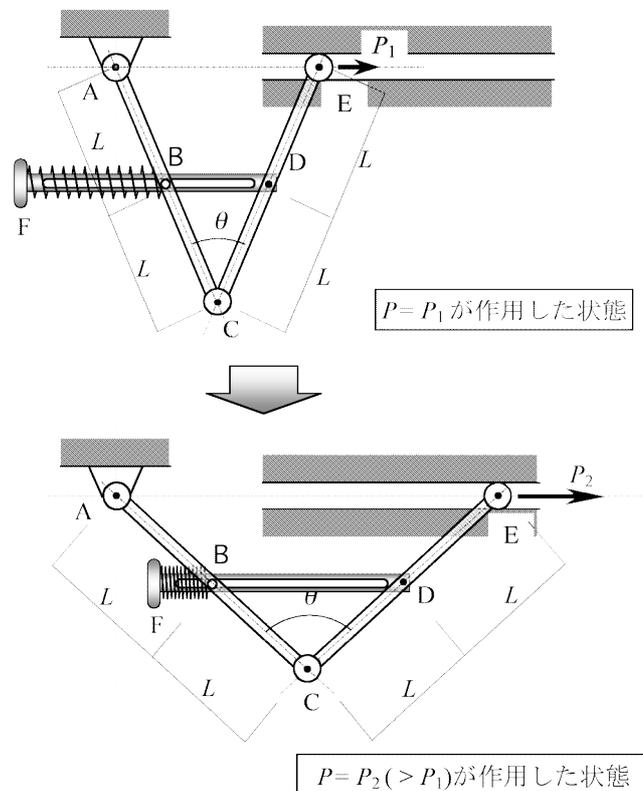


図 4

専門科目・専門分野（午後） 人間環境システム専攻

19 大修

時間 13:30~15:30

注意事項

1. 選択問題 1 ~ 選択問題 8 のうち、2 問を選択し、解答せよ。
2. 解答は各問題ごとに別々の解答用紙に記入せよ。
3. 各解答用紙には必ず受験番号を記入せよ。
4. 問題用紙・下書用紙は持ち帰ってよい。

選択問題 4 次の問題 1, 2 に答えよ。

問題 1 : 定数 $a, b > 0$ であるとき、直角座標系において点 $P(x, y)$ の位置が時刻 t によって次のように表されている。このとき、以下の問に答えよ。

$$x = e^{at} \cos bt$$

$$y = e^{at} \sin bt$$

- (1) 点 P の描く曲線の概形を示せ。
- (2) $t = -\infty$ から $t = t$ の点までの弧の長さを s とするとき、弧の長さ s を求めよ。
- (3) $t = t$ の点における曲率を k とすると、曲線の単位接ベクトルを \mathbf{e}_t 、単位法線ベクトルを \mathbf{e}_n とするとき、以下の関係式が成立する。

$$\frac{d\mathbf{e}_n}{ds} = -k\mathbf{e}_t$$

このとき、与えられた曲線の k の値を求めよ。ただし、単位接ベクトルと単位法線ベクトルは $\mathbf{r} = (x, y)^T$ とする時、以下の式で求めることができる。

$$\mathbf{e}_t = \frac{d\mathbf{r}}{ds}, \quad \mathbf{e}_n = \frac{1}{k} \frac{d^2\mathbf{r}}{ds^2}$$

- (4) 点 P の接線と原点 O と P を結ぶ直線のなす角を求め、時刻 t によらず一定であることを示せ。

問題 2 : 右手系の直交座標系において、以下の関係式で表される曲線が与えられている。ここで、 s は曲線上のある基準点から測った弧の長さである。

$$(x, y, z) = (0, g(s), f(s))$$

この曲線を y 軸回りに回転してできる曲面について以下の問に答えよ。

- (1) この曲面上の任意の点 (x, y, z) から微小量だけ離れた曲面上の点 $(x + dx, y + dy, z + dz)$ への距離を考え、その長さを du とする。このとき、以下の関係が成り立つことを示せ。ただし、 $d\theta$ は y 軸回りの微小回転角を示す。

$$du^2 = ds^2 + f^2 d\theta^2$$

- (2) この曲面のガウスの曲率 K は主曲率の積で与えられ、以下の式で表すことができる。

$$K = -\frac{d^2 f}{ds^2} \frac{1}{f}$$

このことを用いて、得られる曲面の内、ガウスの曲率が正の定数となる曲面を求めよ。

専門科目・専門分野（午後）

人間環境システム専攻

19 大修

時間 13:30～15:30

注意事項

1. 選択問題1～選択問題8のうち、2問を選択し、解答せよ。
2. 解答は各問題ごとに別々の解答用紙に記入せよ。
3. 各解答用紙には必ず受験番号を記入せよ。
4. 問題用紙・下書用紙は持ち帰ってよい。

選択問題5 次の問題1～3に答えよ。

問題1：建築空間で利用される主な光源を三つあげ、各光源の色に関する特徴を、それぞれ100字程度で説明せよ。

問題2：以下の環境心理学，環境行動研究に関連する設問1～3に答えよ。

- (1) 空港の待合室の家具がソシオファーガルな配置となっている理由を述べ、逆にソシオペタルな家具配置が適している場所や状況の例をあげよ。(100字程度)
- (2) 環境の知覚における視覚・聴覚・嗅覚の差異を、注意の方向と拡がりの観点から具体例を示して説明せよ。(100字程度)
- (3) 高層住宅に居住することが幼児の発達に及ぼす影響について述べよ。(100字程度)

問題3：最近の犯罪報道をみると、建築やまちの環境設計によってある程度防止できたのではないと思われるものもある。下記の防犯設計の考え方を参考に、実際にあった事件（またはありそうな事件）を例に、環境設計による防止策について論ぜよ。また、その防犯設計によって生じるマイナス面があればそれについても言及せよ。(300字程度)

<環境の防犯設計の考え方>

- 1) ニューマン(Newman,1972)によって提唱された、領域性や自然監視が重要であるとする考え方。
- 2) ジェフレイ(Jeffrey,1971)によって提唱された、環境のメンテナンスや組織的・機械的な監視、アクセスの制限、孤立を避けるコミュニケーションが重要であるとする考え方。
- 3) クラーク(Clarke,1992)によって提唱された、犯罪者に関する「日常行動理論」(場所の利用スケジュールを適切にして犯罪者との接触を避ける)や「合理的選択理論」(犯罪者は犯行によって得られる利益とコストとを天秤に掛けて判断する)に基づく状況的犯罪予防の考え方。

(このページは、以下空白)

専門科目・専門分野（午後）

人間環境システム専攻

19 大修

時間 13:30~15:30

注意事項

1. 選択問題1～選択問題8のうち、2問を選択し、解答せよ。
2. 解答は各問題ごとに別々の解答用紙に記入せよ。
3. 各解答用紙には必ず受験番号を記入せよ。
4. 問題用紙・下書用紙は持ち帰ってよい。

選択問題6 次の問題1, 2に答えよ。

問題1：住民が利用できる地域施設の1つに、集会施設がある。施設名称は公民館、コミュニティセンター、地区センターなど異なることもあるが、都市には一般的に集会施設が存在する。大都市近郊に位置する人口20万人程度の都市において、段階構成に基づく集会施設の整備について次の問いに答えよ。

- (1) 建築計画の立場で機能・規模・配置の観点から、市全域において集会施設を整備する考え方を論ぜよ。(400字程度)
- (2) 集会施設は、他の地域施設と複合して建設される場合がよくある。どのような種類の地域施設と複合して建設されることが多いか、集会施設以外の地域施設の種類を3つ書け。
- (3) 上の(2)で答えた3種類の施設と集会施設を複合化する場合、建築計画の考え方を論ぜよ。(400字程度)

問題2：次の用語それぞれについて具体的に説明せよ。(各用語200字程度)

- (1) S I 住宅
- (2) 建築物のPOE
- (3) PFI事業

(このページは、以下空白)

専門科目・専門分野（午後）

人間環境システム専攻

19 大修

時間 13:30～15:30

注意事項

1. 選択問題1～選択問題8のうち、2問を選択し、解答せよ。
2. 解答は各問題ごとに別々の解答用紙に記入せよ。
3. 各解答用紙には必ず受験番号を記入せよ。
4. 問題用紙・下書用紙は持ち帰ってよい。

選択問題7 次の問題1～3に答えよ。

問題1：住宅地の道路ネットワークをデザインする上で考慮すべき点を簡潔に説明せよ。(200字程度)

問題2：次の(1)～(4)から1つを選び、その政策を実施している代表的な都市を1つあげた上で、政策の目的、具体的な内容、効果、課題を述べよ。(300字程度)

- (1) 自動車交通に対するエリアプライシング
- (2) 都市の適切な成長管理
- (3) グリーンベルト
- (4) バスを基幹交通にすえた都市づくり

問題3：「世帯のどのような社会経済属性が休日の外出回数に影響するか」をアンケート調査により検討したい。検討するためのアンケート調査項目、調査実施方法、およびその調査データの分析方法を述べよ。(400字程度)

(このページは、以下空白)

専門科目・専門分野（午後）

人間環境システム専攻

19 大修

時間 13:30～15:30

注意事項

1. 選択問題 1 ～ 選択問題 8 のうち、2 問を選択し、解答せよ。
2. 解答は各問題ごとに別々の解答用紙に記入せよ。
3. 各解答用紙には必ず受験番号を記入せよ。
4. 問題用紙・下書用紙は持ち帰ってよい。

選択問題 8 次の問題 1、2 に答えよ。

問題 1：下記の文章は架空の書物に関する書評の一部である。文章を読んで、問に答えよ。

L. ナルバンディアン著『静謐の譜』（翻訳書、すずかけ書肆、1992）は、4 世紀から 17 世紀に至る歴史アルメニア地域に建てられた教会建築についての随筆である。著者はアルメニア系アメリカ人で、1980 年代に自らの出自を辿る意図のもと、初めて歴史アルメニア地域を旅し、そこで数多く残された石造の教会建築に感銘を受けて、本書執筆に至ったと記している。従って、門外漢による言わば私的な探訪記としての体裁をとるが、限られた 3 ヶ月という期間内には、主要な遺構を訪ねており、また図版も整備されているので、本邦初の翻訳書として、初学者には好適のアルメニア教会建築の紹介書と言えよう。幾らか情緒的に流れる傾向はあるものの、各遺構の説明はバランスの取れたものとなっている。全般として、著者がアルメニア建築を西欧の教会建築の一端に位置づけようとしている意図は明白と言えよう。その是非は別として、この気宇壮大な企画を十全に展開する上で、150 ページという分量が適当であるかは評価も分かれよう。また、翻訳におけるいささか韜晦な表現は、初学者にとって隔靴搔痒の感は否めない。しかし、これまで日本で等閑視されてきた分野が、我国の建築界に一石を投じ得る上で、匿名の翻訳者の功績を過小に評価すべきではない。

本書は、「第 1 章：アルメニアの土地と気候」、「第 2 章：悲劇の建築史家トラマニアン」、「第 3 章：アルメニア教会建築の成立と展開」、「第 4 章：アルメニア教会建築の世界史的評価」の 4 章立てで、蛇足のごとく「補遺：アルメニアの民家」から構成される。著者が指摘するアルメニアは現在のアルメニア共和国と異なり歴史アルメニア地域であり、古代から大地震が頻発したアルメニア断層が横切っており、記念的建築物には耐震性が要求された。著者は建築形態の成立要件として、紀元前 5 世紀末から紀元前 4 世紀にかけてこの地域を横断したギリシャ人傭兵部隊の行軍記『アナバシス』の著者アリストテレスよろしく、自らが被った悲劇的経験を交えて何よりも地理的条件を詳述する。多くの遺構は僻陬にあることから、艱難辛苦の果てに辿り着いた経験自体が、建築の空間体験として増幅されているのである。こうしたアルメニア教会建築は今世紀初頭、アルメニア人の不世出の建築史家トラマニアンによる研究を嚆矢とするが、著者はトラマニアンに対する献辞を長々と述べている。しかし、いささか偏執狂的な精

（選択問題 8 は次ページに続く）

専門科目・専門分野（午後）

人間環境システム専攻

19 大修

時間 13:30～15:30

注意事項

1. **選択問題 1** ～ **選択問題 8** のうち、2問を選択し、解答せよ。
2. 解答は各問題ごとに別々の解答用紙に記入せよ。
3. 各解答用紙には必ず受験番号を記入せよ。
4. 問題用紙・下書用紙は持ち帰ってよい。

選択問題 8 の続き)

度で彼の生活を探訪する姿勢には、自らもアルメニア人である事への強烈な矜持が窺える。著者が 12 月の雪の降る最中、トラマニアンが寄宿していたアレキサンドロポリ（現アルメニア共和国の都市ギュムリ）の荒蕪に帰した閑居を訪ねて抱いた寂寞とした思いは、アルメニアに立ち尽くす教会建築へと連綿と繋がっている。謂わば、研究者として先鞭をつけながら、報われる事の無かったという事実は、最も早く開花した教会建築でありながら、その後の歴史で忘れられたアルメニアの建築へと同化されているのである。(A) この悔悟の思いは通奏底音となつて、微かな耳鳴りのように全編を覆っている。こうした主観と客観が入り交じった内容が、建築そのものの解説に至る前に誌面の三分の二を使い果たしてしまっている。

確かにキリスト教建築を語る上で、アルメニアの教会建築を俎上に載せることは宜なきにしもあらずとも言え、イスラム勢力に圍繞された地域に、継続して教会が建てられた事は奇跡に近い。とりわけ、教会建築のあらゆる形式が 7 世紀には出現しているとも言える点は、西欧教会建築の起源としてアルメニアの教会建築を位置づけたいくなる誘惑に駆られる。(B) 著者もその点については意識的で、周到にこの議論を避けている節もあるが、10 世紀以降にゴシック建築で主流となる内接十字形の教会について、著者は従来の説であるトラキア方面（おおよそ現トルコ共和国のヨーロッパ側）の起源を排し、7 世紀のアルメニア建築を有力視しているように見える。この内接十字形の教会の成立については、今後の議論を俟たねばならないが、7 世紀のアルメニア建築が建築形式としての多様性を示すように、建築文化の全盛期を迎えていた事は人口に膾炙されている。また、アルメニア教会の西欧建築と異なる一大特色である左右非相称性を、民族的美意識として先見的に獲得されているものとする。しかし、(C) 我国の寢殿造りの建築形式の展開をみると、一概に先見的な美意識として捉え得るのか疑問と言わざるを得ない。さらに、教会形式であるバシリカ式とホール式、架構形式であるペンデンティブとスキッチ等、建築に対する常識的な知識の欠如が認められる点は、著者の門外漢としての立場を大目に見るべきだろう。(後略)

(1) 上記の文章で、2 箇所用語上の事実誤認が認められる。その言葉を指摘し正しい言葉を記せ。

例：誤（アリストテレス）→正（クセノポン）

専門科目・専門分野 (午後)

人間環境システム専攻

19 大修

時間 13:30~15:30

注意事項

1. 選択問題 1 ~ 選択問題 8 のうち、2問を選択し、解答せよ。
2. 解答は各問題ごとに別々の解答用紙に記入せよ。
3. 各解答用紙には必ず受験番号を記入せよ。
4. 問題用紙・下書用紙は持ち帰ってよい。

(選択問題 8) の続き)

- (2) 著者は何故、下線(A)の箇所で「悔悟の思い」を抱いたのか、その理由を記せ。(200字以内)
- (3) 下線(B)の箇所で「著者もその点については意識的で、周到にこの議論を避けている節もあるが」とあるが、著者は何故議論を避けていると書評者は考えたのか、その理由を記せ。(200字程度)
- (4) 下線(C)で「我国の寝殿造りの建築形式の展開をみると、一概に先見的な美意識として捉え得るのか疑問と言わざるを得ない」と書評者は記しているが、何故このように考えたのか、その理由を「寝殿造り」の成立経緯から説明せよ。(200字程度)
- (5) この書評の最後の段落は「後略」となって記されていない。上記の書評の文章をもとに、各自、相応しいと考えられる最後の段落を創作し、この書評を完成させよ。(400字程度)

問題 2 : 外国人が著した日本文化論として有名な下記 A~C の 3 作品に関して以下の問に答えよ。

A : 日本奥地紀行, B : 表徴の帝国, C : 日本美の再発見

- (1) A~C の 3 作品と著者名の組み合わせとして正しいものを選べ。
 - 1) A : ロラン・バルト, B : イザベラ・バード, C : ブルーノ・タウト
 - 2) A : ロラン・バルト, B : ブルーノ・タウト, C : イザベラ・バード
 - 3) A : イザベラ・バード, B : ロラン・バルト, C : ブルーノ・タウト
 - 4) A : イザベラ・バード, B : ブルーノ・タウト, C : ロラン・バルト
 - 5) A : ブルーノ・タウト, B : イザベラ・バード, C : ロラン・バルト
 - 6) A : ブルーノ・タウト, B : ロラン・バルト, C : イザベラ・バード
- (2) A~C の 3 作品を発表された時期が古い順に並べた組み合わせとして正しいものを選べ。
 - 1) ABC, 2) ACB, 3) BAC, 4) BCA, 5) CAB, 6) CBA
- (3) A~C の 3 作品の中で、日本の都市の中心の空虚さを論じたものはどれか。またその主張の内容を 200 字程度で述べよ。